

## 令和5年10月銚子市教育委員会定例会議事録

### 1 日 時

令和5年10月27日（金）

午後3時00分 開 会      午後3時13分 閉 会

### 2 場 所

銚子市役所 3階庁議室

### 3 出席委員

教育長	石 川 善 昭
委 員	藤 本 一 雄
委 員	枡 崎 継 雄
委 員	伊 藤 晴 美
委 員	安 藤 清

### 4 出席職員

学校教育課長	高野 美樹子	社会教育課長	小川 正俊
学校教育課長補佐	相京 義晴	教育総務室長	稲垣 雅美
学校教育室長	古澤 孝男	指導室長(兼小児言語指導センター所長)	榎本 恵子
青少年指導センター所長	栗原 耕次	市民センター所長	宮澤 英雄
公正図書館長	大出 美穂	スポーツ振興室長(兼体育館長)	高橋 仁志
銚子高等学校事務長	宮内 伸光		

### 5 議題等

報告 各課からの諸報告等について

- (1)「第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東」開催概要について
- (2)「中学生銚子半島一周駅伝大会」について

### 6 議事の内容

【教育長】 開会宣言 午後3時00分

ただいまより、令和5年10月銚子市教育委員会定例会を開会いたします。

では、直ちに本日の会議を開きます。

はじめに、議事録の承認についてお諮りいたします。

9月29日に開催いたしました令和5年9月教育委員会定例会及び10月2日に開催いたしました10月教育委員会臨時会の議事録を事前にお配りしておりますが、よろしければ承認したいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

【教育長】

ご異議ないものと認めますので、当該議事録について承認いたします。

**【教育長】**

それでは次に、教育委員会に関する報告をいたします。

**【教育長】**

(別添資料により報告)

**【教育長】**

その他、教育委員より報告することがございましたら、お願いします。

**【教育長】**

それでは、議事に入ります。

日程第1 議事録署名委員の指名を行います。

議事録署名委員は、藤本委員、栢崎委員を指名します。

**【教育長】**

続きまして、日程第2 報告「各課からの諸報告について」、担当課長より報告をいたします。

**【社会教育課長】**

それでは、座ったままで失礼します。まず、ジオパーク全国大会についてご報告申し上げます。明日、10月28日と29日の2日間、銚子市と埼玉県秩父市を会場に第13回日本ジオパーク全国大会 in 関東を開催いたします。これは全国を6つのブロックに分割し、持ち回りで毎年開催している行事であります。本年は関東ブロックの当番のため、銚子ジオパークとジオパーク秩父の2地域で分散開催することになりました。このうち銚子会場は千葉科学大学マリーナキャンパスをお借りしまして全国から約460名の参加が予定されています。

お手元の資料の、このちらしの裏面をご覧ください。スケジュールが掲載してありますが、初日は開会式から基調講演、分科会が行われ、夕方には絶景の宿犬吠埼ホテルで交流会を予定しています。2日目は口頭発表とポスター発表、閉会式が行われます。今回はユースセッションという部門を設けておりまして、全国から高校生の参加があります。地元からも市立銚子高校、県立銚子高校、銚子商業高校の3校が参加いたします。2日目の口頭発表やポスター発表にもこの高校生たちが登場いたします。

全国大会に併せて26日、昨日からですね。プレジオツアーと題しまして銚子の見どころを満載したジオツアーが行われております。また、最終日29日の午後からはポストジオツアーとしまして関東ブロック内ですね、伊豆大島、箱根、つくばなどでジオツアーが開催されます。更に、本日ですが市役所の市民ホールを会場としまして日本ジオパークに新たに申請を予定している地域への説明会や、午後からは事務局員が集まります運営会議、そして夕方4時から全地域の事務局長会議が行われております。

また、同時開催のイベントとしまして28、29日の土日ですが銚子マリーナの駐車場を会場に屏風ヶ浦ジオマルシェを開催いたします。もう1枚のちらしのほうになります。これは全国から銚子を訪れる参加者へのおもてなしと、銚子と周辺地域の住民が参加できる催し物になっておりまして、キッチンカーや飲食ブースだけでなく学術的な展示や活動の発表、様々な体験ブース、文化発表など他のマルシェとはひと味違う行事になっております。

これまでの全国大会はセレモニーとしての形式美や開催地のお国自慢といった要素が非常に強く反映されておりまして、多額の開催費用が掛かることからですね、関東ブロックでは開催地として立候補する地域がありませんでした。過去12回開催しているのですが、2回当番が回ってきております。これはいずれも避けておりまして、3巡目にして初めて関東ブロックとして開催をすることになり、その開催地が銚子と秩父ということになったものです。

この全国大会の開催に要する費用が約1,000万円掛かります。参加者の納める参加費を基本としまして、企業の協賛金、それから関東ブロックの9つの地域で分担して負担金を捻出しておりまして、ちなみに、銚子ジオパークからは70万円ほどの負担金となっております。昨年までの大会では、全ての経費として3,000万から4,000万もの経費が掛かっていたと伺っておりますので、かなりコストダウンに繋がっているものと思います。

明日からの開会式に備えまして、本日中に続々と参加者が銚子に来訪しております。この週末は市内の、特に駅周辺は賑わいを見せるものではないかなと思いますので、経済効果もかなりあるものと期待しております。この時期ですね、文化祭の芸能部門と重なっております、この全国大会の運営には市民のボランティアの方あるいは千葉科学大学の学生が約50名、それから市役所の応援職員も40名ほど動員しております。関係者が一丸となって大会の成功を目指してがんばっておりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

続きまして、駅伝大会についてご報告申し上げます。黄色い封筒に中止のご案内が入っているかと思いますが、毎年1月に開催しております青木半治杯中学校銚子半島一周駅伝大会につきましては、参加校の減少、それから係員確保の課題など大会を開催する環境がなかなか整わないということで、8月23日に主催者四者、市と教育委員会、スポーツ協会、陸上競技協会の四者で協議をしまして来年1月の大会の中止、それから、それ以降の大会の終了を決定したところです。

参考までにですが、青木半治杯の駅伝大会は、戦後の混乱期にスポーツを通じて青少年の健全育成を目指して、昭和25年に銚子市と周辺の市町から16校が参加して第1回の大会が開催されています。以降ですね、回を重ねるごとに参加校が増え、最盛期、平成23年度、平成24年1月の大会には85校が参加し、関東近辺で最大規模の駅伝大会となりました。この参加選手の中からも箱根駅伝ですとか国際的な大会に出場する選手も生まれていると聞いております。

近年は参加校が減少しまして、1校で複数チームの参加あるいは女子チームの参加というのを認めまして、間口を広めてきたのですが、今年の1月の参加の時点では、16校30チームということで非常に縮小、規模が小さくなってきております。こういったことを受けまして、大会の中止と終了を決めたものです。説明は以上です。

#### 【教育長】

ありがとうございました。何かご質問等ありますか。  
よろしいですか。

【教育長】 閉会宣言 午後3時13分

以上をもちまして、令和5年10月銚子市教育委員会定例会を閉会いたします。

銚子市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により署名する。

令和5年11月28日

署名委員 藤 本 一 雄

署名委員 裕 崎 継 雄